

事務局
〒289-1732 千葉県山武郡横芝光町横芝1519-6
TEL 0479-80-1177 FAX 0479-80-1178
第2790地区ガバナー 青木貞雄 第6分区ガバナー補佐 河野知宏

昭和41年10月6日創立 / 昭和41年11月21日承認
例会日時 毎週木曜 12:30 点鐘
(最終例会 18:30 点鐘)
例会場 中国ダイニング富士屋
URL <http://www.narita-airport-m-rc.jp>
E-mail info@narita-airport-m-rc.jp

平成29年5月25日発行 NO.2183 第2336例会 会長 渡邊 孝文 幹事 市原 豊彦 会報委員長 上原 広嗣

例会報告(平成29年5月18日)

点 鐘 会 長 渡邊孝文
ソ ン グ 「我らの生業」
唱 和 「四つのテスト」
会長挨拶 会 長 渡邊孝文
幹事報告 幹 事 市原豊彦
プログラム

本日のお客様

匝瑳市横芝光町消防組合横芝光消防署
署長 伊藤幸夫様

各委員会報告

卓話 (伊藤幸夫様)

例会終了後、AED講習会 (横芝光町文化会館)

日の卓話を機会に少しでも日々の活動を理解できたら
と思います。またAEDの講習も毎年行っていますが、いざという時のために講習をしっかりと身につけて
その重要性を認識したいと思います。よろしくお願
い致します。

5/16日に今年度社会奉仕事業のテント寄贈を南条小
学校にしていまいりました。当日は横芝光町役場に古西
社会奉仕委員長と訪問して、佐藤町長に目録をお渡し
してから南条小学校に行き、校長先生ともいろいろ
話しを伺ってきました。大変喜んでおられました。
今月は青少年奉仕月間でもあります。子供たちの健全
な成長こそが国の将来の発展を決めることは間違いあ
りません。ロータリークラブとしてもこれからもどん
なことが出来るか考えて実行できたらと思います。
先週の会務報告で例会場変更のお願いがあるとの連絡
を忘れました。この機会に会員の皆様にも例会のあり
方、大切さをしっかり考えて、いろいろな意見をお聞
かせください。

会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は匝瑳市横芝光町消防組合横
芝光消防署署長 伊藤幸夫様をお迎えしています。後
ほど卓話を、例会終了後はAEDの講習会をしていた
だけという事で、ありがとうございます。毎日消防
署員の皆さんご苦労様です。我々も消防署について災
害がないとなかなかピンとこない所もありますが、今

幹事報告



- ①会報受領クラブ
・多古RC
- ②ワイトよねやま 206号(2017年5月12日発行)が届い
ております。

委員会報告

◇社会奉仕委員会



委員長 古西 弘和

先程会長からお話がありましたが、本日、AED講習会を横芝光町文化会館にて、いま伊藤署長にお越し頂いておりますが、横芝光消防署の真向かいで行ないますので、例会終了後そちらの方に移動して頂きたいと思っております。去年はプラムだったので、くれぐれもお間違いのないように。よろしくお願い致します。

◇次年度



次年度幹事 倉石 昌治

先日は2回にわたりファイヤーサイドにご参加ありがとうございました。その時ご案内致しました次年度各委員会の活動計画について、ご提案の原稿を5月末日とご案内させて頂きましたが、これから活動計画書作成にあたりまして少しでも時間がほしいという事で、5月25日にメ切を変更させて頂きますのでご協力のほどよろしくお願い致します。

卓話

「消防の動向」

匝瑳市横芝光町消防組合

横芝光消防署長 伊藤 幸夫様

こんにちは。本日はおいしい昼食まで頂きまして誠にありがとうございました。今日は卓話という事ですが

大先輩方が大勢いらっしゃる中のご指名という事でご了承願えればと思います。よろしくお願い致します。

「消防の動向」と書いてありますけれども雑談という形で皆さん聞き流していただければ、眠くなった方は目をつむっていただいて、皆さん軽い気持ちで聞いていただければと思います。



私は先程ご紹介に預かりました消防署で署長をしております伊藤と申します。ここに配属になって3年目になります。

よく災害は忘れた頃にやってくるという話が昔はされていきました。ところが最近は忘れないうちに来てしまう。記憶に鮮明に残っているのが3.11の地震だと思います。近いところだと熊本地震、温暖化の影響なのか定かではありませんが非常に勢力が強い台風が上陸したり、そういった事案、気象が多くなっています。皆さんも忘れないうちにまた災害が来てしまったというふうに実感しているのではないのでしょうか。日本は災害が多く発生する国ですが、この地震や台風、近年だと極地的な豪雨もよくあります。このところ朝鮮半島が非常に不安定な情勢になっておりまして、もしやミサイルが飛んでくるかもしれない。そういった懸念もされております。2020年には東京オリンピック、パラリンピックが開催されますけれども、観光を推進しておりまして日本も外国の方が相当数訪れております。このオリンピックに向けて、更に外国から観光で訪れる方も非常に多くなるかと思っておりますけれどもそこで懸念が考えられるのが、やはりテロなど、そういった問題を考えなければならないと思っております。その国民の生命、人体、財産を守るといった問題で私たちの職種はそういったあらゆる事案に対応した活動をしているというところでございます。渡邊会長からもありましたけれども、普段からお目にかかったことがない、これが一番で。自衛隊や警察、消防、このような組織は普段あまり見かけない、普段は空気のような存在であってほしいというのが世の中としては

平穏であるという事なのですけれども。先程冒頭でも申した通り近年では災害が多数発生しておりまして、自衛隊をはじめ警察、消防もいろいろな地域に、市や県をまたいでいろんな応援の活動に参加をしているような状況です。

皆さん気象庁発表の特別警報というのを聞いたことはありますか？

特別警報が平成 25 年に施行されました。なぜかという、3.11 の同じ年、9 月頃に紀伊半島中心に発生したかなり大きな台風で 100 人余りの方が亡くなってしまった台風がありました。この時に気象庁もいろいろ情報を発信していたのですが、その情報がなかなか伝わりづらいということで、特別警報を作りました。いろんな災害でインタビューを見ていると思いますが、まさか私たちの地域で、正にその通りで、災害はいつでもどのように起こるか分からない、予測がつかないものになっております。特別警報というものもこの辺では発令されたことはありませんが、この地域性からいうと 3.11 の津波が発生した事もあり、一番怖いのは海を抱えていますので津波だと思います。次に怖いのは栗山川を抱えていますので、歴史上栗山川本幹の氾濫の事例はないのですが、そこからつながっている細い川の氾濫の事例はあったのです。

今のご時世、そういったことをはかるといえるのは無理があります。どういったことがあってもおかしくないという地域に皆さんはお住まいだという事を改めて心に刻んでいただきたい。普段ボランティア活動などで地域の皆さんは貢献しております。特別警報というものがあるといえる事を皆さんも記憶に留めて頂いて、発令される前のある発信があります。それに基づいて、近隣の皆さんに声をかけるだとか日頃のボランティア活動にも手を伸ばしていただくと非常にありがたいと思っております。このところ日本は非常に災害が多発しております。予測がつかない状態が次から次への起こっております。

身近な火災についてもお話したいと思っております。

皆さんの地域、ご家庭でソーラーパネルを設置されているご家庭が非常に多いと思っております。売電を目的にした施設が非常に多くなってきております。小さな話ですが、私共の仕事上の話ですと非常にそれが厄介で、仮に火事になった場合は、強風にあおられてパネルが飛んでしまった場合、それを移動しなければならない頭を悩ませているような状況です。

最近の傾向といたしまして若い人を含めて脳卒中が増えたという印象があります。私を含めて皆さんある程

度年齢に達していますので、皆さんも発症リスクが高くなっています。その判断基準を簡単にお話ししておきます。

①笑顔を作ってください左右対称になっているかどうか…片側が引きつっていたりしないかどうか。②目をつぶって両手をまっすぐ前に伸ばす。手の平を上にして 10 秒。…片側が落ちてきてしまったり、片側が上がらなかつたりは脳卒中の可能性が高い。③喋っていただく。簡単な早口言葉やこちらから言った言葉を復唱してもらう。しっかり言えば大丈夫ですが、言えないと可能性が高い。

この 3 つのうち 1 点でもあったら 70% を超える確率で脳卒中の可能性が高い。3 点そろえば 85% 以上の確率で脳卒中の可能性が高い。

なんでお話するかといいますと、今いい治療法があります。この様な症状があると“昨日疲れたから少し様子を見よう”皆さんこの様におっしゃいます。さっきの災害ではありませんがまさか自分が…まさかこの地域が…です。ところが時間をおいてしまうと改善させる余地がかなりなくなってしまう。血管が切れる場合より詰まる場合が圧倒的に多い。仮に詰まってしまって 3 時間以内に治療をすればかなりの確率で良くなる。その様な状況になった場合、ご家庭でもこの 3 点を試してみてもおかしいなと思ったときは、躊躇せずに救急車を呼んでください。そうすると適切な治療ができる医療機関に運び早く治療が受けられる。たとえば救急隊に 20 分前に今の症状が現れたと伝えて頂きますと、今の救急隊はそれを学んでいますので適切な治療ができる病院に皆さんを搬送する。全快とまでいなくても症状の軽い段階で皆さんをお助けすることが出来る。という事を覚えて頂きたいと思っております。

今日 AED の講習がありますけれども、AED は心臓発作を起こした方に電気ショックを与えて、ショックのリズムを取り除くという方法、機械です。これも非常に増えています。これも若い方も非常にふえています。たとえば、中学生が胸にボールが当たって心臓発作を起こしてしまったが、この機械を使って社会回復したという事例もあります。

横芝光町でも機械の普及が非常に進んでいます。皆さん講習を受けて頂き、もし何かの時にこれを使ってやっていただければこの地域の救命技術が上がってくると思っております。

ニコニコボックス

青柳誠君・土屋俊夫君・富一美君・前川成吉君
古西弘和君・市原豊彦君・伊藤元雄君・高田一行君
渡邊孝文君・倉石昌治君・花澤昇一君・鈴木匡哉君
…横芝光消防署長 伊藤幸夫様お忙しい中を卓話
ありがとうございました。またAED講習会よ
ろしくお願ひ致します

本日計	12,000 円
累計	688,003 円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用 いる数	%
5月18日	36	23	32	71.88

☆ 欠席をしたらメイクアップをしましょう ☆

5/18(木)例会終了後、AED講習会

(横芝光町文化会館 14:00~17:00)

